

日々の田高（防災講話と避難訓練）

本校では、将来予想される首都直下型地震に備え、専門講師から地震発生時の対応や高校生としての心構えを学ぶことを目的に、9月1日（月）に避難訓練を実施しました。

避難開始前には、災害支援・防災教育コーディネーターの宮崎 賢哉さんをお招きして、防災講話を行っていただきました。講話では、実際に被災地で起こった具体的なエピソードも交えながら、災害発生後続く避難生活の現実について、特に人間は、発災後6時間以内に、70%の方がトイレに行きたくなくなるというデータを示し、トイレの準備についてお話がありました。生徒たちは真剣な表情で講話に耳を傾け、防災についての理解を深める貴重な時間となりました。

講話終了後、地震が発生したという想定のもと、校内放送を合図に一齐に避難を開始しました。生徒たちは冷静かつ迅速に行動し、定められた避難経路に従って安全に避難することができました。集合・点呼も滞りなく進み、訓練全体が無事に終了しました。

今回の訓練を通じて、生徒たちは防災への意識を一層高め、平時からの備えの重要性を再認識する機会となりました。今後の生活の中でも、今回の学びが活かされることを期待しています。



防災講話の様子



机の下で身を守る生徒の様子



避難の様子



集合・点呼の様子